

# F P まつもと通信

ちょっと得する「資産形成」や「お金」の話題をお届けします。

## ご挨拶

過ごしやすい季節になってきました。

3年ぶりに制約が無い連休で外出を楽しんだ方も多いのではないのでしょうか？

2020年の連休時の人出は平年の95%減と町も観光地も閑散としていたのがウソのような賑わいです。

日本で新型コロナウイルスの初感染が確認されてから3年4カ月、今月から5類扱いになります。

それに伴い新型コロナに関連する医療費は原則自己負担となりますので引き続き感染対策はしっかりとした方が良いかもしれませんね。



## 今月号のちょっと気になるお金のコラム

世界富豪ランキングが発表されました。今年の1位は憧れのブランドを築いた人です。あこがれるだけでなく彼らの事業の成功を利用することも検討しましょう。

## こども家庭庁発足

子ども政策の司令塔となる「こども家庭庁」が先月発足しました。厚生労働省や内閣府などにまたがってきた少子化対策や子育て支援を一体で担うようになります。施策の改善が必要だと判断すれば他府省に勧告できる権限をもちます。

児童や若者、子育て世帯の人たちを審議会に呼んだり、SNSの投稿を集めたりしてこの世代との接点を増やし、「こどもどまんなか」社会の実現を目指します。

少子化対策についての目玉政策の一つに児童手当の「所得制限撤廃」があります。手当を受けることができるのはうれしいのですが、やはり気になるのはその財源です。

増税はできないので社会保険料を上乗せするという意見もあるようですが、社会保険料を負担する世代と子育て世代が重なることを考えると効果が相殺されてしまうのではないかと少し心配ですね。

その他にも、男性育休取得率の向上、授業料後払いや奨学金制度の拡充、保育士の配置基準の改善、出産費用の保険適用、学校給食の無償化などが議論されていく予定です。

新しい省庁なので前例にとらわれずに議論を深め実効性のある政策を期待したいですね。



F P 松本相談センター  
ファイナンシャルアドバイザー  
 媚山裕之

〒390-1702

長野県松本市梓川梓856-26

0263-76-1250

090-8741-7358

<https://fp-matsumoto.com>



2012年から2015年までの3年間、社会保険労務士として「年金事務所における年金相談業務」に従事。そこで、数多くの“悲惨な老後の実態”を目の当たりにし、老後に向けた資産形成の必要性を痛感。

国も勧める、“確定拠出年金”や“つみたてNISA”を活用した「長期・分散・つみたて投資」を真面目に、地道に推進。クイズやゲームを活用した『つみたて投資セミナー』は「わかりやすく、ためになる！」と多くの受講者からご支持をいただいております。

# 確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

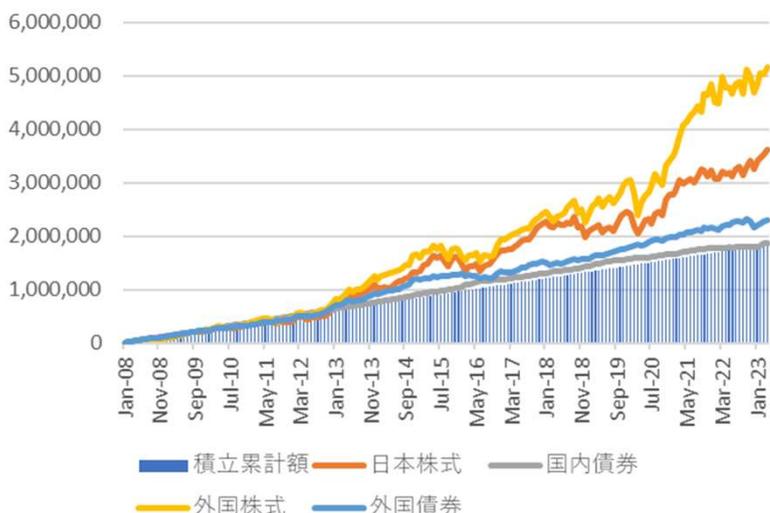
下図表は2008年1月から積立投資をした場合のシミュレーションです（MS社インデックスファンド基準価額データを利用）。図①は国内外の株式・債券の種類ごとの積立投資の推移を表しています。図②は外国株式ファンドと外国債券ファンドに積立投資をした場合の積立開始時期による成果の違いを表しています。この2つのグラフを見ると、確定拠出年金のような長期の積立投資で成果を得るためには以下のポイントが大切であることがわかります。

**投資期間に応じた資産配分：**積立期間が長い場合には株式の割合を多く、まとまった資金の受取予定が近い場合には株式の割合を少なくする

**大幅に値下がりした場合：**積立期間が十分にある場合は、株式への資産配分の増額、掛金の増額を検討する

**長期継続する：**値動きや値動きを解説するニュースに惑わされず長期継続する

## ① アセットクラスごとの積立投資の推移



	Feb-23	Mar-23	Apr-23
積立累計額	1,820,000	1,830,000	1,840,000
日本株式	3,450,993	3,518,522	3,622,084
国内債券	1,824,865	1,859,493	1,873,728
外国株式	5,044,273	5,026,867	5,172,302
外国債券	2,235,807	2,272,992	2,298,596

2008年1月からの積立投資の推移です。株式は値動きは大きい一方値上がりも期待できません。債券は値動きは小さく値上がりも小さいことがわかります。従って長期の積立では株式をメインに、まとめて取崩す予定がある場合は株式の割合を少なくします。

## ② 積立開始時期ごとの積立合計と評価額



2008年1月に始めた積立投資の合計額①184万円（青棒）は2023年2月に②517万円（オレンジ線）と2.8倍になりました。グラフの左の方は積立合計（青棒）に対して現在の評価額（オレンジ線）が大きく上の方に離れているのに対しグラフの右の方はその差が小さくなっています。つまり投資の成果は概ね積立期間に連動していると考えられます。

外国株式に10年（120万円）積立をした場合の最大値、最小値、平均値は下表のようになりました。

最大	2,640,931	2012年1月 ~ 2021年12月
最小	1,747,373	2010年4月 ~ 2020年3月
平均	2,269,607	データ数：65

# 確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

## 4月の株式市場は上昇

	日経平均		NYダウ		ドル円
Feb-23	27,445.56	0.43%	32,656.70	-4.19%	136.22
Mar-23	28,041.48	2.17%	33,274.15	1.89%	133.09
Apr-23	28,856.44	2.91%	34,098.16	2.48%	136.92

先月強く意識された信用不安が後退し4月の株式市場は上昇しました。また、しばらく懸案だった利上げがそろそろ打ち止めになるという見通しも株価を後押ししました。

その一方月末には米国ファーストリパブリック銀行が破綻、2か月で3行の破綻です。想定を上回る破綻、期待外れの救済策などにより大きく下がる場面もあるかもしれませんが焦らずに継続したいと思います。

## 短期投資と長期投資

テレビ、新聞などのニュースを見るときに短期投資と長期投資では見方が全く異なります。今月は新聞記事を例にして確認します。記事への論評ではなくあくまでも長期投資と短期投資の視点の違いを理解するためであることをご理解の上お読みください。

元の記事：

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO70531650W3A420C2ENG000/>

下表は4月に日本経済新聞の「最後の利上げも油断禁物」という米国著名ストラテジストのインタビュー記事と合わせて掲載されていたものです（記事を元に作成）。デフレ期は利上げ後に株価は上昇するがインフレ期は利上げが終了しても株価は低迷するので今回は警戒が必要、ということを表しています。

SP500の騰落率

	インフレ期		デフレ期		
	3ヶ月後	6か月後	3ヶ月後	6か月後	
May-74	-14.60%	-19.90%	Feb-89	11.20%	22.40%
Mar-80	-1.80%	12.10%	Feb-95	9.40%	19.00%
May-81	0.10%	-6.80%	May-00	0.90%	-6.40%
Jan-82	-6.20%	-12.30%	Jun-06	5.00%	11.40%
Aug-84	-2.00%	7.40%	Dec-18	13.00%	16.70%
	-4.90%	-3.90%		7.90%	12.62%

確かにこれを見るとインフレ期と言われる今は株式投資は慎重にした方が良いのではないかと感じます。

しかしながら私たちにとって大事なものは3か月後、6か月後の株価ではなく10年後、20年後の株価のほうです。下図は、起点となる時期から10年後の株価を表しています。

インフレ期			
		10年後	倍
May-74	87.28	160.65	1.84
Mar-80	102.09	331.89	3.25
May-81	132.59	375.34	2.83
Jan-82	120.4	417.09	3.46
Aug-84	166.68	458.26	2.75
			2.83

デフレ期			
		10年後	倍
Feb-89	288.86	1279.64	4.43
Feb-95	487.39	1181.27	2.42
May-00	1420.39	1186.27	0.84
Jun-06	1270.2	2016.95	1.59
Dec-18	2506.85	4169 (*)	1.66
			2.19

\* 2018年12月の10年後はまだ到来していないので2023年4月末の価格を表示

3か月後、6か月後ではインフレ期かデフレ期かによって大きな差が生じましたが10年を延ばすと全く見え方が違ってくるのがわかります。

どちらも平均2倍以上と、始める時期による優位性の差を確信できるほどの違いはないように見えます。2000年5月スタートで10年後にマイナスになっているのは2008年秋のリーマンショックの影響によるものです。

私たちが日ごろ目にする株式市場についてのニュースの多くはこのように短期的な値動きを予想するものです。同じニュースでも長期投資の目線ではどうか、と考えながら読んでみてはいかがでしょうか？

## ちょっと気になるお金のコラム

### 今年の世界長者番付 ベルナール・アルノー氏が1位

先月米国経済誌Forbes誌は世界長者番付を発表しました。初の1位になったのはLVMHのベルナール・アルノー氏で資産額2110億ドル（約27.43兆円）、2位はツイッターの買収などで注目されたイーロン・マスク氏の1800億ドル（約23.40ドル）でした。

#### 世界長者番付トップ10 (億ドル) (兆円)

順位	名前	資産額 (億ドル)	資産額 (兆円)
1	ベルナール・アルノー家 LVMH/フランス	2110	27.43
2	イーロン・マスク テスラ/アメリカ	1800	23.40
3	ジェフ・ベゾス アマゾン/アメリカ	1140	14.82
4	ラリー・エリソン オラクル/アメリカ	1070	13.91
5	ウォーレン・バフェット バークシャー・ハサウェイ/アメリカ	1060	13.78
6	ビル・ゲイツ マイクロソフト/アメリカ	1040	13.52
7	マイケル・ブルームバーグ ブルームバーグ/アメリカ	945	12.29
8	カルロス・スリム・ヘル 通信事業/メキシコ	930	12.09
9	ムケシュ・アンバニ リライアンス・インダストリーズ/インド	834	10.84
10	スティーブ・バルマー マイクロソフト/アメリカ	805	10.47

<https://www.forbes.com/billionaires/> 1ドル = 130円で換算

保有資産10億ドル（1300億円）以上のビリオネアは2640人、資産の合計は12兆2000億ドル

（1586兆円）でした。日本人のトップ3は以下の3人です。

順位	名前	資産額 (億ドル)	資産額 (兆円)
39	柳井正 ファーストリテイリング	32.6	0.42
69	孫正義 ソフトバンク	22.4	0.29
77	滝崎武光 キーエンス	21	0.27

### ビリオネアの特徴は？

●兆円、ましてや10兆、20兆、と言われてもあまりにも自分とかけ離れていてピンとこないと感じるのではないのでしょうか？

ビリオネア達の特徴をみると、彼らの多くは創業した会社が大きく成長し、その株式を大きな比率で持ち続けた人であることがわかります。つまりお金持ちになるためには起業し、その会社が成長すればよいということになります。

しかしながら誰でもが彼らのようになれるわけではありません。彼らの影で起業に失敗した人も数多くいるのも事実です。

金融商品の中にはビリオネア達の事業の成果を得ることができるものもあります。今後はこのような金融商品を上手に活用することを検討しても良いかもしれませんね。

